2023年1月25日　電波新聞

ショールーム訪問　マス商事

最先端ＳＭＴ装置を実機で提案

デモライン設置、周辺機器も充実

マス商事のテクニカルセンター。１階にはＳＭＴのデモラインが設けられている

マス商事は、ＳＭＴを主力とした製造装置商社として、ヤマハ発動機製品をはじめＳＭＴ関連装置を国内や海外の日系顧客に提供している。このほど本社をＪＲ新横浜駅前の銀洋新横浜ビル（横浜市港北区）に移転し、本社機能、管理部門が入った。

本社の移転に伴い、従来の本社（同）１階に常設していたショールームを拡張し、展示機種も拡充して新たに「テクニカルセンター」としてオープン。一新したテクニカルセンターで、最先端のＳＭＴ装置を実機で顧客に提案する。

１階にはＳＭＴのモデルラインを設けている。ヤマハ発動機プレミアム高効率マウンタ―ＹＲＭ２０を中心に、ヤマハ製プレミアム印刷機ＹＳＰ１０をはじめ、ＳＰＩ（ＣＫＤ）、ＡＯＩ（ヤマハ発動機）、非接触クリーニング装置（ナガオカ製作所）、Ｎ２リフロー装置（エイテックテクトロン）などで構成し、実際に基板実装のデモが行える。また、ヤマハ発動機のリニアコンベヤーモジュールをベースにした基板組み立てなどの自動化工程を提案する自動組立機も展示している。

２階も展示場として拡張した。卓上Ｘ線ＣＴシステム（島津製作所）、目視検査装置（日立技研）など周辺機器を多数そろえて展示している。２階では定期的にテーマを設定して機器の展示を行い、顧客に有益な発見をしてもらう場として提案していく。

４階には打ち合わせスペースが設けられ、プライベートセミナーや情報提供の場として活用する。

テクニカルセンターの運営責任者である柳昌典技術部長は「ＳＭＴの総合商社として、ＳＭＴが丸ごとそろうワンストップソリューションを提案したい。顧客に安心感と信頼を体感いただき、新しい発見につながる空間として運営、提供していきたい」と述べた。